



五木村議会だより
2015年(平成27年)1月30日発行

題字：尾方 芳郎氏

No. 1111

やまき

五木村新春駅伝大会



新春駅伝大会



がんばれ!! 園児達



子どもから父へ

(もくじ)

- ・議長年頭挨拶……………2
- ・決算委員会・12月定例会 …… 3～5
- ・戦略的かつ効果的な対策は (一般質問) …… 6～8
- ・ダム対策特別委員会 …… 9
- ・長野県4村視察研修 …… 10
- ・新成人メッセージ…………… 11
- ・五木村の宝…………… 12

議長年頭挨拶



五木村議会議長
西村久徳

村民の皆様へ

明けましておめでとうございます

お元気で輝かしい新年をお迎えられたことと

お慶び申し上げます



年頭に当たり、五木村議会を代表しまして、ご挨拶を申し上げます。

日頃から皆さま方には村政発展のため、色々ご指導、ご鞭撻、ご助言を賜り、厚く御礼申し上げます。

今、全国各地の農山村では急速な少子高齢化が進み、特に本村は、県下一、高齢化率の高い村となっております。これは村政最大の課題であります。

本村は長年、川辺川ダム建設推進で取り組み組んで参り、現在もその立場は変わりませんが、6年前、蒲島県知事のダム白紙撤回表明と前原（元）国土交通大臣のダム建設中止発表により、本村の産業や教育、文化、交通網など、すべての面において遅れをみております。

私たち議会としても、特に村の再建のため、必要な施策と対策を講ずるよう求めています。再建の柱となる若者の雇用の場の確保や企業誘致等が急務と感じ

ております。

インフラ整備では国道445号、九折瀬・神屋敷間の整備が10年以上もストップしたままでしたが、着工に目途が付いたところでもあります。

昨年の11月には知事が来村され、現地をつぶさに見ていただき、議会との意見交換会が開催されました。各議員からも、それぞれ、村の再建と活性化に向けた活発な意見を述べ、大変、意義深いものがあつたと思います。

国の人口問題研究所では本村の人口は2040年に505人にまで減少すると推計されております。本村の抱えるこれらの課題解決のため、スピード感を持ち、議会といたしましても一生懸命、取り組んで参ります。

また、議会自らも議会改革の一環として、次期改選から議員定数を10人から8人へ削減する条例も可決しております。

皆様におかれましても、議会に対し、忌憚^{きたん}のない、ご意見やご提言をいただき、開かれた議会、行動、実践する議会を目指す所存であります。

最後になりますが、村民の皆様方のご健勝とご多幸を切にお祈り申し上げます。挨拶といたします。



議会議場

平成 25 年度

決算認定審査特別委員会

決算認定審査特別委員会を 10 月 27 日及び 11 月 25 日の 2 日間開催し、「一般会計 1 件」と「特別会計 9 件」の歳入歳出について審議しました。1 日目の 10 月 27 日は、一般会計決算書記載の「主要な施策の成果」説明書に基づき、疑義を生じる点、歳入歳出を確認し、2 日目の 11 月 25 日は、村長から平成 25 年度の全体成果の説明を聞き、提出資料及び歳入歳出決算書全般に渡って審議を行い、下記 5 項目の意見を付し、全会一致で認定しました。

審査の対象

- | | |
|---|------|
| ①平成 25 年度五木村一般会計歳入歳出決算書（認定第 1 号） | （認定） |
| ②平成 25 年度五木村国民健康保険特別会計歳入歳出決算書（認定第 2 号） | （認定） |
| ③平成 25 年度五木村ダム対策事業特別会計歳入歳出決算書（認定第 3 号） | （認定） |
| ④平成 25 年度五木村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算書（認定第 4 号） | （認定） |
| ⑤平成 25 年度五木村農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算書（認定第 5 号） | （認定） |
| ⑥平成 25 年度五木村介護保険特別会計歳入歳出決算書（認定第 6 号） | （認定） |
| ⑦平成 25 年度五木村代替地上下水道事業特別会計歳入歳出決算書（認定第 7 号） | （認定） |
| ⑧平成 25 年度五木村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算書（認定第 8 号） | （認定） |
| ⑨平成 25 年度五木村墓地公園特別会計歳入歳出決算書（認定第 9 号） | （認定） |
| ⑩平成 25 年度五木村情報通信事業特別会計歳入歳出決算書（認定第 10 号） | （認定） |
| ⑪証書類及び歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書並びに財産に関する調書 | |

委員会意見

（１）村税等における事務処理について

- 山本委員長、田山副委員長の進行のもと、全委員並びに村長以下各課長の出席にて、次の項目に着眼し審議されました。
- ①予算が議決した趣旨と目的に従って適正に執行されているか。
 - ②行政効果が発揮できたか。
 - ③補助金の効果はあがっているか。
 - ④税の徴収は公平に行われているか。
 - ⑤不納欠損は適正なものか。
 - ⑥財産管理はできているか。
 - ⑦歳出予算の流用は正しく行われているか。
 - ⑧法令や条例に従って適正に執行されているか。

村税の調定等の事務処理ミスが 3 年連続発生しており、再発防止が効いていない。監査委員からも勉強会等の開催を文書で通知したと聞いているが、平成 26 年度においては決算書を訂正することが無いよう強く求める。

（２）「頭地のお宿整備事業」（過疎集落等自立再生緊急対策事業）について

本委員会も現地を視察したところであるが、監査委員の指摘どおり、建物が未完成と

判断した。事業計画の目的にもある「都市住民との交流拠点」「グループ同士の活動拠点」の達成のため、光熱水費等、維持管理を含め、今後どのような事業を展開されるのか、計画書を提出されたい。

（３）純村有林の皆伐について

純村有林は伐採・間伐・植林による循環型林業も必要なことであるが、特に皆伐においては伐採箇所の選定については災害面も考慮し、今後は慎重な対応をされたい。

（４）住民及び各種団体への補助金・助成金について

補助金・助成金は、五木村振興基金に頼りすぎの面が多く感じられる。今後、基金が終了した時のことも踏まえ、補助金等を利用する住民への説明を明確にした上で効果を分析し、「継続」と「見直し」を検討されたい。

（５）主要な施策の成果説明書と効果・分析について

施策の成果説明書は依然として、「向上した」「図られた」との文言が多く、数値化できる事業については数値化し、多くの自治体で導入されている「行政評価システム」を活用し、検証した上で、来年度以降にどう活かすかを説明書に記載されたい。

一般会計 補正額

8,856万8千円

- 子育て・定住支援条例
結婚仲介奨励金の廃止（実績や経過を加味し検討した結果の判断）
- 国民健康保険条例
出産一時金の引き上げ

平成26年第4回五木村議会定例会を12月10日から12日までの3日間開催し、「承認1件」「選任1件」「財産の処分1件」「協定の締結1件」「条例の一部改正3件」「工事請負変更契約の締結4件」「平成26年度補正予算9件」「議員提案1件」の計21件について、審議の結果原案のとおり可決しました。

また、平成25年度歳入歳出決算認定10件も9月定例会で設置された特別委員会で審議され、すべて認定されました。（3ページ参照）

そのほか、一般質問では3人の議員が村政について質問し、最終日には「第三セクターの運営に関する調査特別委員会」が設置され、閉会中において調査されることとなりました。

承認案件

- 平成26年度一般会計補正予算（第6号）
衆議院議員選挙に伴う補正予算の専決処分

選任

- 固定資産評価審査員の選任
欠員による補充
住所 五木村甲5657番地
氏名 宮田大介氏

財産の処分

- 村所有の雑種地の売り払い
1契約5,000㎡以上（1件）

協定の締結

- 中心地宣言（定住自立圏構想推進要綱）をし
た人吉市と定住促進や住民福祉の向上を図る
ため締結

条例の一部改正（3件）

- 職員の給与に関する条例
人事院や県人事委員会の勧告に基づき、医師
等の初任給調整手当や通勤手当等の改正

工事請負変更契約の締結（4件）

- 白滝公園整備工事
現契約 88,542,720円
変更 111,741,917円
増額 23,199,197円
相手方 大乘技建日本株式会社
- 五木村健康・交流広場（仮称）整備工事（植栽工）
現契約 50,760,000円
変更 53,432,662円
増額 2,672,662円
相手方 株式会社 平井喜楽園
- 村道葛の八重線道路改良工事
現契約 80,892,000円
変更 104,201,443円
増額 2,330,443円
相手方 株式会社 尾方組
- 林道八重線開設工事
現契約 93,960,000円
変更 95,092,792円
増額 1,132,792円
相手方 大乘技建日本株式会社

12月定例会

■ 12月定例会補正予算

会計名	補正前額	補正額	予算現額
一般会計	32億2,083万5千円	8,856万8千円	33億940万3千円
国民健康保険特別会計	1億8,582万3千円	△651万3千円	1億7,931万円
ダム対策事業特別会計	23万2千円	1,075万6千円	1,098万8千円
簡易水道事業特別会計	2,449万円	△6万8千円	2,442万2千円
農業集落排水事業特別会計	1,225万8千円	10万円	1,235万8千円
介護保険特別会計	2億118万5千円	115万8千円	2億234万3千円
代替地上下水道事業特別会計	1,438万3千円	61万8千円	1,500万1千円
後期高齢者医療特別会計	2,310万3千円	△86万6千円	2,223万7千円
情報通信事業特別会計	3,125万7千円	148万6千円	3,274万3千円

■ 第三セクターの運営に関する調査特別委員会の設置

株式会社 子守唄の里 五木の運営状況を調査するため、特別委員会が設置されました。

●特別委員会の構成（8名）

委員長	岡本 精二	委員	中村 俊也	田山 淳士	岡本 正
副委員長	藤本 新一		樺木 晴美	山本 豊	西村 久徳

■ 議員提案

●「手話言語法（仮称）」制定に向けた意見書の提出について

一般財団法人 熊本県ろう者福祉協会より提出されていた陳情書について、審議の結果、政府に対し、『手話言語法（仮称）」制定を求める意見書』を提出することが全会一致で可決されました。

■ 各常任委員会付託

●総務常任委員会

平瀬地区から下記の要望書が提出されており、地元の意見聴取や現地調査が必要なことから総務常任委員会へ審査及び調査が付託されました。

- ①下平瀬地区住宅周辺の大径木（枯木）の撤去に関する要望
- ②下平瀬地区の高台にある住宅のための道路整備に関する要望
- ③上下平瀬地区合同集会施設の移転（建設）に関する要望
- ④上下平瀬地区防犯灯設置に関する要望

●経済常任委員会

球磨地域農業協同組合から下記の要請書が提出されましたが、他町村の動向を加味し、即決が困難なことから経済常任委員会へ審査及び調査が付託されました。

『「農協改革」に関する要請書』

要請内容：昨年6月24日に閣議決定された「農協改革」について、「JAグループ自己改革」ができるよう政府に対し意見書を提出することの要請書

を問う！



●戦略的な行財政について

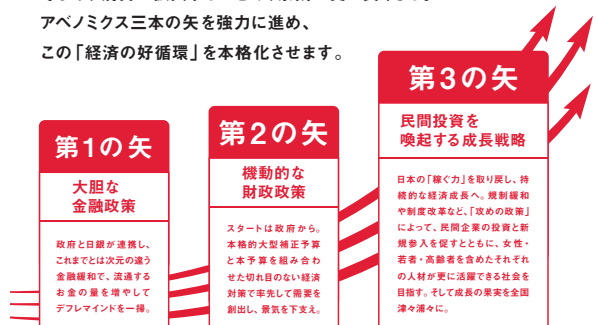
山本議員 村民サービスの向

上と財政改革を推進し、経済情勢の変化等で一層厳しさを増す財政運営の中、ふるさと五木村づくり計画の基本計画にある10年後の目指す姿の達成のため、行政資源を集中的に投入する必要があると思うが、戦略的かつ効果的な対策はどのような考えか。

和田村長 基本構想の中では、生産年齢人口を確保していくのが一番の目的、戦略的かつ効果的な対策は、振興計画の後期計画、個別の計画、ふるさとづくり計画で進めていきたい。財政運営が厳しい中、平成30年までの期間に集中的に投資していく事が必要。協議しながら効果的に確実に実行していきたい。

2年間の実績を活かし、 地方に実感が届く 景気回復を加速させます。

企業の収益が増えることで、雇用の拡大や賃金の上昇が生まれる。
そして、消費が拡大することで、景気が更に良くなる。
アベノミクス三本の矢を強力に進め、
この「経済の好循環」を本格化させます。



現政権政策方針



長野県研修資料より

戦略的かつ効果的な対策は

基本構想の中で生産年齢人口を確保していく

山本議員

和田村長

村づくり



和田村政二期目の成果は

藤本議員

基盤整備は進んだが、反省点もある

和田村長

●和田村政二期目の取り組みについて

藤本議員 就任二期目の

村の再建、振興の成果をどう受けとめているのか。

和田村長 基盤整備等は進んでいると思う

が、人口推計平成26年度900人と想定されていたが現在1200人程度にあるが生産年齢人口の確保が思ったようにいっていない。

質問 今までの実績を踏まえ今後再建振興等の対策は。

村長 Iターン、Uターンは生まれている

が、生まれ育った方が村外に出ていかない対策が必要である。

質問 11月知事来村の意見交換会で五木村づくり計画を弾力的に延長し、企業の参入にも

取り組みとの知事の発言もあり、現予算の増額を要望する必要がある。

村長 五木村振興に必要な財源は国、県にお願いする。企業の参入

も中間集積場等を提案いただいているが場所や、どこが運営するのかまでは決まっていない。

質問 若い方の働く場と五木に若い方が住み隣接の市町村に勤めるような対策が必要と思うが。

村長 五木村にふさわしい、これだという対策まで至っていない。

質問 水没予定地利用は観光面の事業が多い。観光で村民がどれ位の収益と恩恵を受けているか、金額は。

村長 観光面は収入を得る方ばかりでなく農業、林業等いろんな形で参画がされてお

り、土産品、食の提供等、波及効果はある。金額は後でお答えする。

質問 中央エリアは雇用

用の場、就労場とした取り組みが必要と思うが。

村長 民間参入で利活

用し所得を上げていただきたい。県と協議する。

質問 地方創生2法案が成立し、5ヶ年間の計画総合戦略を策定、

地方版を作る努力義務作成にあたって、どのような取り組みをするのか。

村長 チーム熊本という形で数十項目を五木

村に必要な事業と要望している。振興に関わる対策本部が庁内にある素案的なものの知恵をだす必要がある。

質問 戦略 戦

略策定には村民の考えを反映させるために座談会等を開催し、村民参加型の計画を策定する必要がある。

質問 戦略策定には村民の考えを反映させるために座談会等を開催し、村民参加型の計画を策定する必要がある。

村長 座談会等で村民の声を吸い上げる。又、林業者、商工業その他の方が集まる機会で見や考えをお聞きし、計画したい。

質問 戦略策定には村民の考えを反映させるために座談会等を開催し、村民参加型の計画を策定する必要がある。

村長 座談会等で村民の声を吸い上げる。又、林業者、商工業その他の方が集まる機会で見や考えをお聞きし、計画したい。

質問 戦略策定には村民の考えを反映させるために座談会等を開催し、村民参加型の計画を策定する必要がある。



議会との意見交換会時に挨拶する蒲島県知事 (H26.11.21)

村づくりを問う！



● 地方創生の政策は

早田議員 地方創生政策である「まち・ひと・しごと創生」が11月26日に公布され、村としても職員などから政策の募集をされた。その取りまとめはどうなっているのか。

和田村長 2回にわたって県等に提出している。一覧表にしたものもあり、地方創生では基金を造成して公共事業の中止によって目標していたものが無くなった、ダム事業の中止など、国の責任において地方創生の中で措置すべきことなど、他の町村にない特色もある。このほか10項目ほどまとめている。

質問 10項目の中で何をまず一番先に取り組むのか。

村長 地方創生の一番目的である生産年齢人口の増が目的であるので、その財源となる基金の造成と、その中核となる林業者の雇用を図り、地方創生につなげたい。

地方創生の目標は

生産年齢人口を増やすこと

質問 長野の研修先で行われていた政策のチェックのサイクルを3ヶ月ごとに行っていたが、そのようなサイクルで反省をしながら行っていくような考えは。

村長 ハード事業などはできると思うが、その他の事は庁内の体制も考えながらやっていきたい。

質問 村長の任期は来年10月までだが、その先まで自身でチェックされていくのか。

村長 平成27年度当初予算については、任期が10月までなので通常の編成を行い、その先は、まだ言及するほどの整理はしてはいない。

● 再生可能エネルギーの導入について

質問 平成26年3月にエネルギー政策ビジョンを策定されたが、その後のような状況か。

村長 村の豊富な森林資源や水資源を活用し循環型社会「五

木モデル」を構築したいということで、その中で現在は小水力発電の詳細設計を進めている。

地域が生き残るために何をするか勉強しながら取り組ませて頂きたい。

質問 最近トヨタ自動車の水素燃料の自動車の一般販売を開始したが、村として水素燃料ステーションや水素ガスをプラントを設置するような構想は出来ないのか。

村長 「産」と「学」それから「官」が一体となって研究し、最先端の技術を取り入れる必要はあるかと思う。我々も情報の提供を受けながら



ソーラーパネルが設置された診療所

早田議員

和田村長

水没予定地（中央・東部エリア）をどう活用する？

水没予定地の西部エリア（五木源パーク）に続く、中央・東部エリアの暫定利用基本計画をもとに執行部から概要の説明を聴取し、議会から質疑や意見を付した。また、「水没予定地再生推進協議会」についても議論がされた。

委員会の期日

平成26年11月5日及び11月11日

施設整備の説明

- ・中央エリア（旧久領地区）、東部エリア（旧東小跡地）に分けた計画であり、中央エリアは体験型農園や管理棟など。東部は河川を利用した親水広場、オートキャンプ場等である。

水没予定地再生推進協議会の説明

- ・本協議会は平成26年3月に設立され、国交省が許可する営利活動ができる団体を選定するため、村内の各種団体の代表者で構成された協議会である。第3回目の会議を平成26年10月30日に開催し、平成26年11月4日～12月26日まで民間事業者を公募する。

委員の意見

《施設整備について》

- ・過去に議員からも提案しているがどう活かされているのか。
- ・計画には農地整備が多い。本村は林業が主産業であるが製材所などの雇用の場が欲しい。
- ・「沈下橋」や「やな場」の計画案もあるが、漁業権の問題や洪水時の時を考えると現実的にはどうか。また、「やな場」計画について、現在の位置では砂利が相当溜まると思うが管理費が莫大になるのではないか。
- ・公共施設が多く感じるが維持管理が不安である。

《再生推進協議会について》

- ・議員が協議会に入っているが、入会への協議がなされていない。
- ・協議会委員（議員）から他の議員への説明も必要になってくるのではないか。
- ・民間公募が11月4日からと言われたが、11月1日に他者から公募の話を聞いた。どういうことか。
- ・協議会で協議された内容も議会へ報告していただきたい。

まとめ

述べ2回の協議がなされたが「水没予定地利活用（ふるさと振興課所管）」の協議なのか、「水没予定地再生推進協議会（総務課所管）」なのか協議内容自体が一本化していない。

よって、利活用計画については継続協議を行い、議員からの提案があれば、随時担当課長へ提案をしていく。また、再生推進協議会においては協議会で決定した事項について、報告をお願いした。

※ この他にも委員会では、知事来訪に向けた協議も行っております。

水没予定地（東部・中央エリア）整備イメージ



整備後



整備前

長野県4村議員視察研修及び地元選出国會議員表敬訪問

去る10月21日から23日の3日間、長野県4村の視察研修と国會議員への要望を兼ねた表敬訪問を行いました。視察の目的は本村に似た、人口が少なく、高齢化が高い村が、どのような少子高齢化対策や定住促進、産業振興、行財政運営を行っているかを研修し、地元村長や議会議長と意見交換を行いました。

また、地元選出国會議員の3人の方の国会事務所を訪問し、五木村の再建等について要望と意見交換を行いました。

長野県下伊那郡4村と本村の比較

平成26年4月現在

村名	総面積 (km ²)	山林占有率 (%)	人口 (人)	世帯数 (世帯)	高齢化率 (%)	主産業
ねば 根羽村	89.95	92	998	443	46.8	林業
うるぎ 売木村	43.55	88	596	273	46.7	農業・観光
てんりゅう 天龍村	109.56	93	1,530	807	53.3	農林業
おおしか 大鹿村	248.35	90	1,115	520	50.4	農林業
五木村	252.94	96	1,241	526	43.8	林業

4つの村は長野県の南部に位置し、イメージは五木村から八代市東陽町や泉町へ向かうような感じでした。それぞれ、特色のある村でしたが紙面の都合上、本村と同じ規模で、同じ課題を持った大鹿村をご紹介します。

☆大鹿村

- 概要**・・・人口減少と少子・高齢化で、特に定住促進に力を入れており、村外からの流入者、いわゆる「ターナー」者が人口の3割を占めている。
- 産業**・・・農業は地形的・自然的条件に恵まれず、林業も木材価格の低迷や若年層の村外流出、林業に対する意識も衰退傾向にある。
- 農業**・・・地元ならではの農産物を伸ばし、村外からの人材による援農ボランティアの力を借り、山村景観を守ることを進めている。
- 林業**・・・森林資源を最大限活用し、伐採、間伐、整備から村内における一次加工、エネルギー資源としての活用など、雇用力のある森林活用に取り組んでいる。
- 行財政**・・・H26当初予算が18億8,800万円で、本村が30億1,500万円なので、本村の約3分の2程度の予算規模。大きな事業費は、地域おこし協力隊員等の活動事業に3,200万円、有害鳥獣対策に1,758万円など。
- 取組**・・・H24から「行政評価システム」を導入。各事業に目標を立て、達成度合いに応じ「現状維持」「拡大」「縮小」「見直し」「廃止」の区分で評価し、次年度の事業をどうするか、方針を決めている。



大鹿村での研修風景



大鹿村役場





新成人メッセージ ～ 成人を迎えて～



成人式にて自己紹介（1月4日）



土肥 愛美さん
(小鶴地区)

今年成人を迎えるにあたって私を育ててくれた家族、声を掛けて温かく見守ってくださる五木村の皆様には感謝の気持ちです。私は宇土の歯科医院に就職し、医療事務として2年目になりました。患者様の対応や専門的な知識を日々勉強しております。自分で出来ることを少しでも増やして社会に貢献したいです。そして家族や周りの方々に助けられてここまで頑張れています。これからは感謝の気持ちを忘れず、恩返ししたいと思います。



久保田 晋輔さん
(上平野地区)

この度、成人を迎え、大人の仲間入りが出来たことを嬉しく思うとともに、身の引き締まる思いを感じています。私の進みたい道へ背中を押してくれた両親、温かく見守り、応援して下さい下さった地域の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。私は現在、長崎県庁に入庁し、島原振興局で林業の仕事に携わっています。まだまだ知識不足な部分が多いですが、いずれは「林業のプロ」となり、お世話になった五木村にも還元できるように頑張ります。

議会の動き(12月～2月)

12月 3日	12月定例全員協議会、議会運営委員会	1月22日	例月監査（岡本監査委員）～ 23日
12月 8日	人吉下球磨消防組合例月監査（中村議員）	1月23日	下球磨町村議会議長連絡協議会（正副議長）
12月10日	第4回議会定例会～ 12日	1月27日	全員協議会、第三セクターの運営に関する調査特別委員会、広報委員会
12月16日	第三セクターの運営に関する調査特別委員会	1月30日	地元選出県議会議員との意見交換会（全議員）
12月18日	例月監査（岡本監査委員）～ 19日		
12月19日	全員協議会、12月定例郡議長会議及び正副議長・事務局職員合同会議	2月 4日	2月定例全員協議会
12月25日	人吉球磨広域行政組合議会定例会（田山・山本議員）	2月12日	人吉下球磨消防組合例月監査（中村議員） 2月定例郡議長会議及び地元選出県議会議員との意見交換会（議長）
12月26日	郡議長会議臨時会議（議長）	2月13日	鹿児島県いちき串木野市「薩摩藩英国留学生記念館」他視察研修（～ 14日）
1月 4日	平成27年五木村成人式	2月17日	熊本県後期高齢者医療広域連合議会定例会（議長）
1月 5日	平成27年五木村消防団出初式	2月18日	熊本県町村議会議長定期総会（議長）
1月 7日	1月定例全員協議会、ダム対策特別委員会、第三セクターの運営に関する調査特別委員会、広報委員会	2月19日	例月監査（岡本監査委員）～ 20日
1月 9日	人吉下球磨消防組合例月監査（中村議員） 経済常任委員会	2月20日	人吉下球磨消防組合議会全員協議会及び定例会（中村議員）
1月14日	1月定例郡議長会議（議長）、広報委員会	2月25日	球磨郡町村議会議員研修会（全議員）
1月18日	五木村新春駅伝大会	2月27日	人吉球磨広域行政組合議会定例会（田山・山本議員）
1月21日	広報委員会		



人情淵にある岩（下平野）



西谷の薬師神社

シリーズ たから 五木村の宝 Vol.14

＝平野、西谷地区＝

村第2の集落宮園地区の中心を流れる川辺川を挟んで上流北側に位置するところに、平野地区（上平野、下平野）はある。国道より山間へ入っていくとずいぶん開けた風光明媚な場所へでる。上平野と呼ばれる所だ。地区の中心的な所に樹齢は定かではないが、公孫樹の巨木に囲まれて薬師堂がひっそりと立っている。そのお堂の前には、村出

身で初の郷土力士熊ヶ嶽猪ノ介（本名 黒木松次郎）の遺構が祀られている。又、川辺川沿いには、「人情淵」と呼ばれる淵があり、川岸から突き出た奇岩が、その昔、地区に伝わる悲恋物語に出てくる大蛇が七巻き半しながら天へ登っていったところとされているそうだ。西谷地区は村内でも唯一集落内に田園が望めるところである。地区内

には、古来より女人禁制とされる薬師神社が祀られていて、農耕の神様とされ近年まで村内外から作物の虫除けの御利益を求めて、多くの人々が参りに来られていたそうだった。以前は、7軒の家々で年2回（旧暦6月と10月）の祭りを守っていたが、今では4軒だけで支えておられるようだ。同地区内には観音堂も祀っており、そばには樹齢100年以上は経っているのではと言われる公孫樹の巨木も見える。地区内を通っている村道に沿って、南西の方角に向かって山間に入っていくと栗鶴地区と鶴地区がある。両地区については次回に

編集後記

行く年、来る年。新たな目標を立てた方、心機一転、新春を迎えられたと存じます。

昨年12月14日に投票された衆議院選は、自民党と公明党で3分の2を占め勝利。4年間の任期を2年で解散した安倍総理の大胆な戦略。

本村の農業振興対策や地域社会の再生など、多くの課題が山積みしております。将来を展望できる経営所得安定対策、地方創生等々、厳しい課題についても将来を誤らないように執行部・議会一丸となって邁進していきたいと思っています。

今後新たな創意工夫を追求して、内容をさらに充実させ、皆様のお役に立つ広報紙を発行したいと存じます。今年もよろしくお願い申し上げます。

(Y・Y)



さざんか 山茶花

次回の定例会は3月中旬の予定です。皆様の傍聴をお待ちしております。